

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30～34	入居者の高齢化とともに身体機能が低下し、病状の重症化が進んでいる。	見守りの強化、医療機関との更なる連携を図り、重度化を予防する。	37.5ルールに則り、早めの対応をする。 身体状況を把握するためのブリーフモニタリングを継続する。 緊急時対応の研修会を年1回開催する。	3ヶ月
2	49	入居者の重症化、体力低下や意欲低下により、外出する機会が減少している。	一人一人の希望を把握し、家族や地域の人々の協力をいただきながら、安全に留意して外出する機会を設けていく。	月に一回の外出計画、日々の散歩計画を具体的に立てる。	1ヶ月
3	26	食事を楽しむことや栄養摂取、水分確保の更なる支援。	栄養バランスの良い献立、季節の食材を生かし、利用者が食べやすい食事、水分補給を目的とするおやつにも目を配る。	食事に関する会議を月1回行なう。 理事長、管理者、調理担当者、計5名で行う。 献立表を月初めに家族に送付する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。